

Sustech と四国電力、分散型電力運用 VPP プラットフォーム「ELIC」を用いた発電量予測に係る実証実験開始

2022年4月1日
株式会社 Sustech

株式会社 Sustech（代表取締役：飯田祐一郎・丹野裕介、以下「Sustech」）は、この度、四国電力株式会社（取締役社長 社長執行役員：長井啓介、以下「四国電力」）と、太陽光発電施設における AI による発電量予測に関する基本合意書を締結し、本日より実証実験を開始いたします。

当社 Sustech は、「テクノロジーを通じて、企業と社会のグリーントランスフォーメーションを支援する」ことをミッションとするスタートアップ企業です。本実証実験を通じて、当社が開発する、分散型電力運用 VPP プラットフォーム「ELIC」の発電量予測精度の向上及び分散型電源戦力化に向けたインバランスリスク低減の証明を目指します。



太陽光 FIP 制度への対応と、太陽光発電戦力化の必要性

2050 年に向け、日本を含む 120 以上の国と地域がカーボンニュートラルを目指す中、分散型電源となる再生可能エネルギーのさらなる普及、そして安定電源としての戦力化が期待されています。

一方で、太陽光発電に代表される分散型電源は自然由来のエネルギーであるため、気候など外部環境によって未来の発電量にばらつきが出ることが多く、安定電源としての活用が難しいことが課題になっています。2022 年 4 月には、発電量予測・市場売電に掛かるシステム搭載を前提とした太陽光発電買取の新制度「FIP（フィード・イン・プレミアム）」が開

始され、発電量予測精度の高いシステムの早期提供が必要となっています。

分散型電力運用 VPP システム「ELIC」について

Sustech の開発した分散型電力運用 VPP システム「ELIC」は、発電量予測を行うことでインバランスリスクを低減し、電力の戦力化を目指すプラットフォームです。今回の実証内容に含まれる発電量予測に加え、計画提出・インバランスリスク管理・市場価格予測・相対取引価格管理・出力抑制対応・蓄電池の充放電管理などの機能も同時に開発中であり、順次実装を予定しています。

発電量予測精度については、既に社内実証実験を通じて高い予測精度を記録しており、四国電力との実証を通じて、更なる精度向上を目指します。

Sustech について

株式会社 Sustech は「テクノロジーを通じて、企業と社会のグリーントランスフォーメーションを支援する」ことをミッションとするスタートアップ企業です。ESG、脱炭素、エネルギー等の領域における業界のミッシングパーツを特定し、プロダクトを開発。現在では脱炭素プラットフォーム「ELIC zero」、分散型電力運用 VPP プラットフォーム「ELIC」を展開しております。

会社概要

会社名：株式会社 Sustech

代表取締役：飯田祐一郎・丹野裕介

住所：東京都港区芝 3-1-14 5 階

設立：2021 年 6 月

資本金：4.3 億円（資本準備金含む）

HP：<https://www.sustech-inc.com/>